

第38回軽米町議会臨時会令和4年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会

令和5年3月24日(金)

午前10時19分 開会

議事日程

議案第1号 令和4年度軽米町一般会計補正予算(第11号)

議案第2号 令和4年度軽米町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

議案第3号 令和5年度軽米町一般会計補正予算(第1号)

○出席委員（10名）

1番	上山	誠	君	2番	西館	徳	松	君	
3番	江刺家	静	子	君	4番	中村	正	志	君
5番	田村	せ	つ	君	6番	館坂	久	人	君
7番	大村	税	君	8番	本田	秀	一	君	
9番	細谷地	多	門	君	11番	茶屋	隆	君	

議長 松浦満雄君（同席）

○欠席委員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町	長	山本	賢一	君
総務課	総括課長	福島	貴浩	君
総務課	企画担当課長	野中	孝博	君
総務課	総務担当課長	松山	篤	君
会計管理者兼	税務会計課総括課長兼	日山	一則	君
収納・会計担当	課長	古館	寿徳	君
税務会計課	課税担当課長	橋場	光雄	君
町民生活課	総括課長	戸草内	和典	君
町民生活課	町民生活担当課長	工藤	薫	君
健康福祉課	総括課長	小笠原	隆人	君
健康福祉課	福祉担当課長	工藤	晃子	君
健康福祉課	健康づくり担当課長	江刺家	雅弘	君
産業振興課	総括課長	竹澤	泰司	君
産業振興課	農政企画担当課長	鶴飼	靖紀	君
産業振興課	農林振興担当課長	輪達	隆志	君
産業振興課	商工観光担当課長	中村	勇雄	君
地域整備課	総括課長	神久保	恵蔵	君
地域整備課	環境整備担当課長	寺地	隆之	君
地域整備課	上下水道担当課長	福島	貴浩	君
再生可能エネルギー	推進室長	小林	昌治	君
教育委員会	教育長	長瀬	設男	君
教育委員会	事務局総括次長	輪達	ひろか	君
教育委員会	事務局教育総務担当次長	梅木	勝彦	君
教育委員会	事務局生涯学習担当次長			

選挙管理委員会事務局長

福島貴浩君

○職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名

議会事務局長

関向孝行君

議会事務局主事

竹林亜里君

議会事務局主事

松坂俊也君

---

◎開会及び開議の宣告

- 委員長（大村 税君） それでは、ただいまより特別委員会を開催いたします。  
傍聴者が2名ございますので、許可をいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

- 委員長（大村 税君） それでは、許可をいたします。  
ただいまから令和4年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会を開会いたします。皆さんの慎重な審議をお願い申し上げます。  
ただいまの出席委員は10人でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

（午前10時19分）

- 
- 委員長（大村 税君） 議案審議について、本特別委員会に付託されました議案は、議案第1号から議案第3号までの3件でございます。

議案審査の進め方についてお諮りします。議案の提案説明は、本会議場で終了しております。本委員会では、予算の審議については歳入は全般で、歳出については款ごとに補足説明を求めながら進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

- 委員長（大村 税君） また、説明者は挙手の上、指名を受けてから説明に入ってくださいようお願い申し上げます。

---

◎議案第1号の審査

- 委員長（大村 税君） それでは、議案第1号 令和4年度軽米町一般会計補正予算（第11号）の歳入について当局の説明を求めます。

総務課総括課長、福島貴浩君。

- 総務課総括課長（福島貴浩君） それでは、議案第1号の説明をしてまいります。

歳入歳出予算の総額からそれぞれ9,630万7,000円を減額し、歳入歳出それぞれ84億7,246万8,000円とするものでございます。概要といたしましては、各種事業の確定見込みに伴う減額が主なものとなります。

それでは、歳入について説明させていただきます。予算書は7ページを御覧ください。2款3項の森林環境譲与税は、550万2,000円増の2,820万2,000円を計上しています。

7款1項の地方消費税交付金は2,185万1,000円増の2億685万1,

000円、8款1項のゴルフ場利用税交付金は596万2,000円増の1,596万2,000円を計上しております。

10款1項の地方特例交付金は7,000円減の199万3,000円を計上しております。

8ページを御覧願います。15款国庫支出金、1項の国庫負担金につきましては、1目の民生費国庫負担金が1,469万3,000円減の2億8,556万7,000円と2目の衛生費国庫負担金が1,499万8,000円減の2,852万2,000円、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の減によるものでございます。

2項の国庫補助金につきましては、1目総務費国庫補助金は令和4年度マイナポイント事業費補助金118万5,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金204万1,000円で322万6,000円増の2億4,009万2,000円、2目民生費国庫補助金が1,485万1,000円減の1億953万4,000円、3目衛生費国庫補助金が857万2,000円減の4,061万2,000円、5目土木費国庫補助金1,068万7,000円減の1億306万8,000円となっております。

9ページを御覧願います。16款県支出金は、1項の県負担金、1目民生費県負担金では自立支援医療費（更生）負担金や児童手当負担金、広域入所（私立）委託児童保育負担金などが546万2,000円減となり1億5,382万5,000円を計上してございます。

2項の県補助金は、1目総務費県補助金が79万6,000円増の186万1,000円、2目民生費県補助金が地域生活支援事業費補助金や介護施設等整備事業費補助金、生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策事業費補助金など1,106万3,000円減の5,194万1,000円となり、3目の衛生費県補助金は106万9,000円減の668万5,000円となっております。

10ページを御覧願います。4目の農林水産業費県補助金は、いわて地域農業マスタープラン実践支援事業費補助金や多面的機能支払交付金が775万3,000円減となり、3億1,791万5,000円となっております。

16款県支出金では、3項委託金の1目総務費委託金で参議院議員選挙費委託金が507万7,000円減の2,402万8,000円となっております。

18款寄附金、1項寄附金でございますが、1目の指定寄附金は農林業の健全な発展及び地域活性化施策に対する指定寄附金で17万3,000円減の1,167万3,000円となっております。

19款繰入金、1項基金繰入金でございますが、1目財政調整基金繰入金が3,652万9,000円の減、4目地域福祉振興基金繰入金が436万円の減となっ

ております。

11ページを御覧願います。21款の諸収入ですが、4項雑入がクリーンエネルギー自動車導入促進補助金として165万円増により9,514万5,000円を計上してございます。

歳入の説明は以上となります。

○委員長（大村 税君） 歳入の説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

中村委員。

○4番（中村正志君） ちょっと分からないので質問しますけれども、ゴルフ場利用税交付金が1,000万円の予算から596万2,000円増の補正をされたのですけれども、ゴルフ場の利用税というのは軽米のことなのか、全国的なゴルフ場の中から軽米にこの分が交付されるものなのか、内容をちょっと教えてほしいと。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） ゴルフ場利用税につきましては、軽米のゴルフ場の利用者に対する交付金ということで、軽米では1日というか1人当たり700円ということで計上させていただいております。

○委員長（大村 税君） 中村委員。

○4番（中村正志君） ということは、軽米町のゴルフ場が当初見込んでいたよりも1.5倍多く利用されているということで、軽米のゴルフ場は以前は景気がどうのこうのという話があったのですけれども、現在はかなり利用者が増えてきている、いい経営状況にあるというふうに理解してよろしいものでしょうか。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） 中村委員ご指摘のとおり、私もゴルフ場のほうには行ったことがないですけれども、散歩がてらに見ていると、土日には八戸ナンバーの車等が高速のインターの辺りで縦列で並んでおりますので、多分利用者のほうは増えているものと思っております。

○委員長（大村 税君） 中村委員。

○4番（中村正志君） 今感じ方として、私もそういう感じは持っているのですけれども、税収等の関係で、数字としてそういうふうにゴルフ場の経営が上向きなのかということをお伺いしたのですけれども、その辺のところはいかがでしょうか。以前、何かいろいろとあったような気はしているのですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） 経営的な部分については、私のほうでは把握してございません。利用者についての部分で把握してございますので、その辺のところにつ

いては詳しくは私のほうではお答えできないものでございます。

○委員長（大村 税君） 中村委員。

○4番（中村正志君） 別に個人情報とかそういう問題ではない。私もそんなに詳しくはないのですけれども、税金の関係とかいろいろかつてあったのではなかったのかなというふうなことをちょっと聞いたような気がしたので、利用者が増えて経営状態が上向きであれば、それはそれでいいことなのだけれども、そういう状況になっているというふうに役場のほうでは捉えているのかどうかをちょっと確認したくて質問しているのですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○委員長（大村 税君） 休憩します。

午前10時32分 休憩

---

午前10時32分 再開

○委員長（大村 税君） 再開します。

会計管理者兼税務会計課総括課長、日山一則君。

○会計管理者兼税務会計課総括課長（日山一則君） ゴルフ場の経営状況については前といますか、コロナの影響で、やはりどうしてもレストラン等のほうでも大分縮小といますか、できないということで、固定資産税のほうも納期を遅らせてほしいというような猶予の申出もあった経緯がございます。

年が明けまして、その後は状況が大分好転、いわゆるコロナ禍にあってゴルフ場の利用者が逆に増えるというふうな、グループでなくて個人で楽しむというようなことも可能でございまして、そういったお客様も増えているような状況にあると思います。

税の収納ベースからいっても、事業のほうは今は順調に、コロナ前まではまだいっていないかもしれませんが、大分元に近づくような形で運営されているというふうに認識しております。

以上です。

○委員長（大村 税君） よろしいですね。あとはございませんか。

江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） 繰入金ですけれども、財政調整基金繰入金と地域福祉振興基金繰入を減額しました。財政調整基金の年度末の残高、そして地域福祉振興基金の残高が分かったら教えていただきたいと思います。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） 江刺家委員のご質問にお答えします。

財政調整基金につきましては、年度末でございますけれども、17億4,200万円となっております。

- 委員長（大村 税君） よろしいですか。
- 3番（江刺家静子君） 地域福祉振興基金のほうは分かりますか。
- 委員長（大村 税君） 休憩します。

午前10時35分 休憩

-----  
午前10時35分 再開

- 委員長（大村 税君） 再開します。  
後ほど回答するということでございますので、ご理解願います。  
質疑ありませんか。  
中村委員。

- 4番（中村正志君） 16款県支出金の2項県補助金、1目総務費県補助金の中に若者・移住者空き家住まい支援事業費補助金として45万円の補正をされていますけれども、この状況というのは移住関係の中で当初よりも何か増えて補助金が上乘せされたものなのか、その補助金の状況と内容を教えてほしいなと思います。

- 委員長（大村 税君） 総務課企画担当課長、野中孝博君。

- 総務課企画担当課長（野中孝博君） ただいまのご質問にお答えいたします。

今回の補正につきましては、当初から予算措置をしていなかったものでございまして、新たに今回45万円を追加したものでございます。

内容としましては、空き家の活用について2件、若者の空き家取得に係る事業1件、計3件分の申請がございまして、町で補助金を交付した後、県のほうに申請をして、今回認められたものが45万円ということになってございます。県の補助金は2分の1が基本ということになっておりますが、補助金の上限として取得に係る分が県から15万円、改修に係る費用が20万円、18歳以下のお子様がいらっしゃれば加算で10万円ということで計45万円の補助金を頂戴しているというところでございます。

以上でございます。

- 委員長（大村 税君） 中村委員。

- 4番（中村正志君） ありがとうございます。空き家活用ということで非常に前に進みつつあるのかなと思っていましたけれども、空き家の活用を具体的に、ここでお知らせできる範囲でいいのですけれども、どのような活用の方法がされようとしているのか、ちょっと教えていただきたいと。

あと、若者の住宅取得というふうなこともあるようですけれども、どういう方がそれをやろうとしているのか、分かる範囲というか、公表できる範囲でいいのですけれども、教えていただければなと思いますけれども。

〔「休憩お願いします」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 休憩いたします。

午前10時38分 休憩

---

午前10時40分 再開

○委員長（大村 税君） 再開します。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なければ、歳出に移ります。

〔「先ほどの答弁漏れについて」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 先ほど、後ほど詳細説明をしますということでございましたので、担当課のほうで補足説明を行いますので。

健康福祉課総括課長、工藤薫君。

○健康福祉課総括課長（工藤 薫君） 先ほど江刺家委員から繰入金関係で地域福祉振興基金の残高の見込みというふうなお話がありました。令和3年度末残高が9,637万2,000円ですので、これから331万5,000円を差し引く9,305万7,000円が残高見込みとなっております。

以上です。

○委員長（大村 税君） 以上説明が終わりました。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なければ、歳出に移ります。款ごとに説明を求めます。

総務課総務担当課長、松山篤君。

○総務課総務担当課長（松山 篤君） それでは、2款総務費、1項総務管理費の総務担当に関わる分についてご説明を申し上げます。

ページ数は12ページとなりますので、御覧ください。まず、1目の一般管理費でございますが、今回745万円の減額をお願いするものでございます。

概要について説明をさせていただきます。旅費につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、令和4年度におきましても盛岡市の自治会館でこれまで集合型の研修をしていたところでございますが、それをネットといたしますかウェブ研修に切り替えたことにより出張旅費が145万円減額となったものでございます。

13節の使用料及び賃借用につきましては、ネットワーク関連、セキュリティー関連の減額でございますが、令和4年度において更新の時期を迎えておりますデスクネット関連の機器等につきましては、半導体不足などの影響により納入が困難となったことから600万円の減額をするものでございます。

続きまして、4目の財産管理費のほうに移らせていただきます。13節、17節はそれぞれ148万円、357万3,000円の減額をするものでございますが、リース料につきましては途中リース満了を迎えた車両がございまして、それを購入することとしたことにより148万円の減額をするものでございます。備品購入費につきましては、入札減などがございまして357万3,000円の減額をいたします。

次に、24節の積立金でございまして、町債減債基金元本積立といたしまして1億5,000万円の積立てをしたいと考えております。これにつきましては、かるまい文化交流センターの建設費を今後償還することを踏まえまして、今回1億5,000万円の元本積立てを計画したものでございます。

総務担当につきましては以上でございます。

○委員長（大村 税君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なければ、質疑を終わります。

〔「項ごとにやっているの」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 款。

〔「款でやっているの。今、総務担当の分と言った」「続けて説明していけばいいですか」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） すみませんでした。款ごとに説明を求めます。

会計管理者兼税務会計課総括課長、日山一則君。

○会計管理者兼税務会計課総括課長（日山一則君） それでは、税務会計課所管分の補正予算について補足説明いたします。

12ページのほうでございまして、総務管理費の中の3目会計管理費550万円を減額するものでございます。これにつきましては、指定金融機関支出事務取扱手数料を減額するものでございますが、当初予算の特別委員会時にもご説明申し上げましたが、昨年といいますか、今年度ちょっと予算見積りのほうを過大に取った部分もございまして、精査した結果、この部分が減額となるものでございます。

それから、1つ飛びまして11目諸費、22節償還金、利子及び割引料ということで町税還付金を350万円ほど予算計上いただきましたが、今年度の還付金の見込みが立ちまして139万2,000円を減額するものでございます。

13ページに参ります。中ほど、3項徴税费でございまして、賦課徴収費100万6,000円の減額、これにつきましては土地情報総合システム保守、異動修正業務委託料でございまして、登記等の所有権の移転等ございまして、土地の異動等が

あったものを地図データに反映するわけですが、そのデータ件数が固まりまして、今年度におきましては100万6,000円減額するというものでございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 総務課企画担当課長、野中孝博君。

○総務課企画担当課長（野中孝博君） 予算書13ページ、2項企画費について申し上げます。

補正額については、1目企画費1,565万円の減となります。1節報酬720万円、4節共済費145万円、13節使用料及び賃借料350万円になりますが、これはいずれも令和4年度において地域おこし協力隊の応募がございませんでしたので、合わせて1節から13節までの計で1,215万円を減額させていただきたいと考えております。

次に、18節負担金、補助及び交付金350万円の減でございますが、軽米町地域活動支援事業費補助金ということで減額させていただきたいと思っております。今年度につきましては、延べ41件の地域や町内会からの申請がございまして、520万9,000円交付する予定となっております。残りの350万円を減額させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 続いて、再生可能エネルギー推進室長、福島貴浩君。

○再生可能エネルギー推進室長（福島貴浩君） 同じく2項企画費の中の4目再エネ推進費についてご説明申し上げます。

12節委託料が125万2,000円の減額を計上しております。内訳として、再生可能エネルギー発電事業推進専門員派遣業務委託料の減額となります。予算額220万円に対しまして支出見込額94万8,000円を見込み、125万2,000円を減額したものでございます。

次に、軽米町ゼロカーボン推進事業補助金は200万円の減額を計上いたしました。本年度は太陽光発電10万円、電気自動車10万円の補助メニューを用意いたしましたけれども、実績はゼロの見込みとなっております。全額を減額させていただきました。なお、11月に電気自動車の購入手続をされた方が1名ございまして、納車が5月か6月の見込みとなることで、本年度の実績とはなりません。来年度の実績にカウントされるということになります。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 続いて、選挙管理委員会事務局長、福島貴浩君。

○選挙管理委員会事務局長（福島貴浩君） それでは、2款総務費、5項選挙費、3目の参議院議員選挙費につきましては、令和4年7月10日執行の第26回参議院議員選挙通常選挙でございますが、投票率52.1%に係る経費の確定に伴う減額とな

ります。

4目の町長選挙につきましては、令和5年1月22日執行の軽米町長選挙、投票率61.38%に係る経費の確定に伴う減額となります。18節負担金、補助及び交付金、選挙公営負担金278万8,000円の減額となります。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） それでは、2款が終わりましたので、質疑を行います。質疑ありませんか。

江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） 再エネ推進費の負担金、補助及び交付金なのですが、実績がなかったということです。これは個人にだけなのですか、法人とかにも出るのですか。対象者ですけれども。

○委員長（大村 税君） 再生可能エネルギー推進室長、福島貴浩君。

○再生可能エネルギー推進室長（福島貴浩君） 申し訳ございません。今資料を確認して答弁したいと思います。

○委員長（大村 税君） 資料を確認しての答弁だそうですが、よろしいですか。

江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） すみません、それに関連してお聞きしたいのですけれども、今法人に出るか聞いたのは、いちい荘なのですけれども、いちい荘の屋根の形状を見たときに私は当然ソーラーパネルが載っているのかなと思ったら載っていないのですけれども、ああいうところには何か補助といいますか、ソーラーパネルをやって、そういうエネルギーを使えばいいのになと思うのですけれども、ちょっと関連してお聞きします。

○委員長（大村 税君） 関連質問ですが、再生可能エネルギー推進室長、福島貴浩君。

○再生可能エネルギー推進室長（福島貴浩君） 申し訳ございません。先ほどのゼロカーボン事業の部分からお答えさせていただきます。

対象につきましては、個人または個人事業主、あと法人であっても該当になります。電気自動車の購入につきまして1台につき10万円、太陽光発電設備につきましては出力1キロワット当たり2万円で10万円を上限としております。団体等につきましても、年度内における申請は1件までというふうな要件となっております。

いちい荘の部分については、もう少しお待ちください。

○委員長（大村 税君） 休憩します。

午前10時55分 休憩

午前10時56分 再開

○委員長（大村 税君） 再開します。

再生可能エネルギー推進室長、福島貴浩君。

○再生可能エネルギー推進室長（福島貴浩君） いちい荘のソーラーにつきましては、現時点では計画等はありませんので、将来的に財源等を考えながら検討はさせていただきますと思います。

○委員長（大村 税君） 江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） いちい荘が私は当然ソーラーが載る建物なのだなと思っていましたけれども、オール電化で大変電気料がかかってという話を聞いたものですから、町として何かそういうこれからのことで検討していただければなと思いました。ありがとうございました。

○委員長（大村 税君） 再生可能エネルギー推進室長、福島貴浩君。

○再生可能エネルギー推進室長（福島貴浩君） ただいまのご指摘につきまして、ご提言として受け止めてまいります。ありがとうございます。

○委員長（大村 税君） あと質疑はありませんか。

中村委員。

○4番（中村正志君） 補正にはないですけれども、さっき歳入のほうで聞いた移住関係のことでちょっと聞きたいのですけれども。休憩でもいいのですけれども、それは委員長にお任せします。

移住支援に関して、いろいろなケースがあるのではないかなというように思いますけれども、先ほど言った空き家を利用して移住者を住ませるという方法もあるかと思うし、最近聞いた話では、首都圏のほうにいて、年もある程度取ってきて田舎のほうに帰ろうかと、独り暮らしの母親等がいて一緒に住んでみようかと。ただ、そういう場合に、この家では水洗でもないし、だからそういう水洗化とかその辺のところを直さなければちょっと一緒に住めないなというふうな状況、増改築も含めて、そういうふうなこともあるかと思うのですけれども、今の支援金というか、補助金等では、そういうのは対象にならないような気がするのだけれども、移住するために、今親が住んでいるうちをリフォームしたりとかというふうな場合、それも移住に関して支援金というか、補助金等の対象になるのかなというふうなこと。何か聞くところによると、1件だけではなく2件、3件というふうな方々が東京のほうから帰ってくるような話を聞いたりもしているのですけれども、その辺のケースはいろいろあるかと思うのですけれども、例えばそういうケースの場合、補助対象になるのかなというふうなところをちょっとお伺いしたいのですけれども。

○委員長（大村 税君） 総務課企画担当課長、野中孝博君。

○総務課企画担当課長（野中孝博君） ただいまのご質問にお答えいたします。

現在町で用意しているメニューの中には、Uターンといいますか、ご実家のほうに帰ってきた場合の支援というのは移住対策の中の補助メニューにはございません。

今あるのは空き家を活用した場合、あとは若者、39歳以下の方が空き家を取得する場合、あとは空き家を売りたいとか再整備したいということの環境整備に係る分については10万円を上限ということになっておりますので、そのメニューはございませんので、今後の支援策としていろいろ検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

○委員長（大村 税君） よろしいですか。

○4番（中村正志君） 検討していただくということですから、いいです。

○委員長（大村 税君） 今後検討してまいるということでございます。

それでは、3款民生費に入りたいと思いますが、よろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 民生費についての補足説明がございませうか。

健康福祉課福祉担当課長、小笠原隆人君。

○健康福祉課福祉担当課長（小笠原隆人君） それでは、3款民生費について、健康福祉課所管分について補足説明させていただきます。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費についてでございます。こちらにつきましては、1,150万円の減額ということとなっております。こちらにつきましては、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の用いられなかった部分の1,150万円につきまして事業確定による減額とさせていただきます。

次に、3目老人福祉費についてご説明いたします。補正額は1,473万1,000円の減額とさせていただきます。内訳としては、1節報酬が170万円、委託料が100万円、負担金、補助及び交付金が1,203万1,000円となっております。こちらにつきましては、報酬につきましては地域包括支援センターの介護支援専門員を募集しておりましたが、なかなか応募者がなくて、11月からやむを得ず事務職を採用いたしました。それまで使われなかった部分を今減額するというところでございます。

次に、12節の委託料ですが、老人保護措置費委託料についてですが、当初9人分を予算措置しておりましたが、1人措置が要らなくなったということで8人の期間がちょっと長かったということで、100万円ほどが不要になったということでございます。

次に、18節でございます。介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業費補助金でございます。こちらにつきましては、国の事業でございまして603万1,000円の減額となっております。こちらにつきましては施設からの簡易陰圧装置というものを2基設置したいということで申請をいただいて、国のほうに申請していたものでございます。こちらにつきましては、1基当た

り基準額が432万円ということで、それぐらいの機械を入れたいということで申請をいただいていたものでございますが、実質見積りを取ったところ、高い機械でなくても十分な効果が得られるというような機械があるということで、見積りによりかなりの減額になったものでございまして、600万円ほどの減額になったということでございます。

次に、後期高齢者等臨時特別給付金でございます。こちらにつきましては600万円の減額ということでございます。こちらにつきましても、PRによりましてパーセントでいきますと75.93%の給付率となっておりますが、600万円ほどが用いられなかったということで減額するものでございます。

次に、6目障害者福祉費でございます。こちらは1,280万円の減額となります。自立支援医療費（更生医療）給付費でございますが、こちらが事業確定による減ということで700万円の減額となるものでございます。

次に、15ページを御覧ください。民生費の2項児童福祉費についてご説明いたします。2目の児童措置費でございます。こちらは児童手当の支給に係る扶助費になってございますが、児童手当の対象者の減によりまして770万円の減額をさせていただくものでございます。

次に、4目児童福祉施設費でございます。軽米こども園の人件費等の減額ということで、こちらにつきましては保育士、調理師それぞれ1名減ということで運営をしてきたというところと、あと賄い材料費については100万円が減額となるというところでございます。あと19節の扶助費でございますが、保育施設等広域利用施設型給付費ということでございますが、こちらが他市町村へ委託する保育の部分でございますが、7名分を措置しておりましたが、今年度の実績が3人であったということで430万円の減額をするものでございます。

次に、5目児童クラブ運営費でございます。こちらは軽米児童クラブ、放課後児童クラブの送迎業務の委託料の減額120万円でございます。こちらにつきましては、昨年コロナ禍による休所の期間があったことと、あと利用人数により大型のタクシーをお願いしていたところが、人数が少なかったことで小型のタクシーで間に合ったというところで減額になったものでございます。

次に、7目のいわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業費でございます。こちらにつきましては、プッシュ型で給付をしたものでございますが、これが第1弾、第2弾ということで2回実施してございます。こちらにつきましては、県の補助が1人当たり1万5,000円ということで、町の上乗せ分1万5,000円を足しまして、1回目も2回目も1人当たり3万円の給付を行ったものでございますが、実績により171万円を減額するものでございます。

以上、補足説明とさせていただきます。

○委員長（大村 税君） 3款民生費についてまだありますか。

町民生活課町民生活担当課長、戸草内和典君。

○町民生活課町民生活担当課長（戸草内和典君） それでは、3款の町民生活課分について補足説明いたします。

14ページをお開きください。3款1項6目、19節扶助費、重度心身障害者医療費ですが、580万円の減額となります。事業費確定に伴う減額でございます。

続きまして、15ページをお開きください。3款2項3目、19節扶助費ですが、こちらも事業費確定に伴う168万円の減額となっております。

以上、補足説明となります。

○委員長（大村 税君） 以上、3款民生費の説明が終わりました。

質疑ありませんか。

〔「委員長、休憩しないか」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ちょっと待ってください。始めるのがちょっと遅かったから、終わらせたいなと思って努力していますが、今この説明が終わったらば。

質疑ございませんか。

江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） 民生費の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金と福祉灯油費等給付金、これらは対象となった方が何%ぐらい申請したものでしょうか。

○委員長（大村 税君） 健康福祉課福祉担当課長、小笠原隆人君。

○健康福祉課福祉担当課長（小笠原隆人君） ただいまの江刺家委員のご質問にお答えいたします。

まず最初に、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業でございますが、こちらは令和4年度住民税非課税世帯の方に1世帯当たり5万円を給付するという事業でございます。予算措置としては1,500件ほど見込んでございましたが、こちらは非課税世帯等のマックスの数字ということで1,500件ほど見込んでございました。しかしながら、システム改修をしまして、そちらのほうで対象者を割り出しましたところ、1,082件の方が対象だということで、この方々に確認書を送付させていただいております。その中で申請があったところが全部で1,048世帯に給付をしております。その中で確認書による給付が1,041件となっております。この方を最初の対象者から割り出しますと、給付率が96.21%ということになります。そのほか家計急変世帯が1件、そのほかに申請型による申請が6件ございました。ということで、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業のほうはそのとおりでございます。

次に、軽米町福祉灯油費等給付事業でございます。こちらにつきましては、非課税世帯全てということで1,380世帯ほどを予算措置の時点では想定させていた

できました。しかしながら、こちらにつきましては対象者につきまして詳しいところを割り出すシステムがございませんので、対象者が割り出せないというところもございまして、この予算措置ベース、1,380世帯をベースとして計算いたしますと、今年度の給付件数が498件ございましたので、36.1%ということになります。前年度ベースでいきますと、前年度が444件ということでございましたので、54件の増ということで398万4,000円を給付いたしております。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） よろしいですか。あと質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なしということでございますので、ここで先ほど要求がございましたので、休憩にしたいと思いますので、よろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） それでは、10分間の休憩といたしたいと思いますので、20分再開いたします。

午前11時14分 休憩

-----  
午前11時24分 再開

○委員長（大村 税君） 再開します。

4款衛生費、補足説明を求めます。

健康福祉課健康づくり担当課長、工藤晃子君。

○健康福祉課健康づくり担当課長（工藤晃子君） 4款衛生費、健康福祉課所管分について補足説明いたします。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目母子保健活動費につきましては、560万円の減額補正するものでございます。こちらにつきましては、12節委託料の乳児、妊婦健康診査・精密健康診査委託料と19節扶助費、妊産婦健康診査受診に要する交通費助成金の事業費確定による減額でございます。

3目予防費についてです。こちらにつきましては、2,802万5,000円減額補正するものでございます。主に新型コロナウイルスワクチン接種事業の事業費確定による減額でございます。

続きまして、16ページをお開きください。4目保健事業費でございます。750万円の減額をお願いするものでございます。検診の委託料でございますが、事業費確定による減額をさせていただくものでございます。

以上です。

○委員長（大村 税君） 続いて、地域整備課総括課長、中村勇雄君。

○地域整備課総括課長（中村勇雄君） 地域整備課分をご説明させていただきます。

5目環境衛生費でございます。461万7,000円を減額するものでございます。内容につきましては、説明欄に記載のと通りの額でございます。これは事業費確定によるものでございます。

以上です。

○委員長（大村 税君） 2項清掃費、町民生活課町民生活担当課長、戸草内和典君。

○町民生活課町民生活担当課長（戸草内和典君） 続きまして、4款2項2目塵芥処理費、16ページをお開きください。12節委託料ですが、高齢者ごみ出し支援事業委託料の確定と高齢者ごみ出し支援事業等集積所新築工事設計監理業務委託料が取りやめとなったことから、212万6,000円の減額となります。

続きまして、14節工事請負費ですが、同じく新築工事を取りやめたことによる642万8,000円の減額となります。

以上、補足説明となります。

○委員長（大村 税君） 4款衛生費の補足説明が終わりました。

質疑はありませんか。

江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） 浄化槽設置整備事業費補助金についてお伺いします。

令和4年度は何件くらい申請があったのでしょうか。

それからもう一つ、1回造って古くなって、またもう一回造り直すというか、浄化槽のリフォームというものがありますか。

○委員長（大村 税君） 地域整備課総括課長、中村勇雄君。

○地域整備課総括課長（中村勇雄君） ただいまのご質問にお答えいたします。

浄化槽設置につきましては、13基設置してございます。内訳として、5人槽3基、7人槽9基、10槽1基となります。その事業費が561万3,000円となっております。

浄化槽のリフォーム、それにつきましてはちょっと要綱等を今持っておりませんので、勉強させていただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（大村 税君） 江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） すみません。前もって聞いておけばいいのですけれども、突然の質問でいつも迷惑をかけていると思っておりますけれども。要望もあるので、何か家族が増えたりして、リフォームしてもう一回造り直すときに、遠野市なんかはこれにかさ上げを、独自の分を足して補助金を出しているということだったので、もしもなかったら要望としてそういう制度もちょっと考えていただきたいなと思っております。ありがとうございました。

○委員長（大村 税君） 要望ですね。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ないとみなし、6款農林水産業費、説明を求めます。

産業振興課総括課長、江刺家雅弘君。

○産業振興課総括課長（江刺家雅弘君） 6款農林水産業費、1項農業費につきましては、事業費の確定により減額するものでございます。

それから、2項林業費でございますけれども、林業費につきましても事業費確定による減と。あと、林業費の1目林業総務費でございますけれども、軽米町森林環境整備基金元本積立、これは歳入でも説明申し上げましたけれども、歳入で505万2,000円来たものをそのまま積み立てるというものでございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） 同じく16ページになります。6款農業費、1項農業費、2目農業総務費、24節の積立金でございます。17万3,000円の減額となります。内容としては、10ページの歳入で説明いたしました軽米町自然のめぐみ基金元本積立金の残額となります。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 6款農林水産業費について説明が終わりました。

質疑ありませんか。

中村委員。

○4番（中村正志君） 軽米町エゴマ産地確立推進事業費補助金が減額されているようですけれども、エゴマの産地化というふうなことは軽米で結構前々から言われているのですけれども、現在の軽米町のエゴマの栽培状況といいますか、増加傾向にあるのか減退しているのか、減になっているのか、その辺の状況をちょっとお知らせいただきたいと思います。

○委員長（大村 税君） 産業振興課農林振興担当課長、鶴飼靖紀君。

○産業振興課農林振興担当課長（鶴飼靖紀君） ただいまのご質問にお答えいたします。

軽米エゴマの会の推移でございますが、現在19個人と1団体が加入してございます。面積につきましては、令和3年度で9.3ヘクタールであったものが令和4年度では10.6ヘクタールに増加しておりますが、最盛期の18.6ヘクタールに比べますと面積は減っている状況にございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 以上、説明が終わりました。

中村委員。

○4番（中村正志君） かつての18ヘクタールから半分ぐらいにしかなくなっていないということは、原因をどういうふうに捉えていて、なおかつまだこれからもエゴマの推

進を町としては図ろうとしているのか、産地化を図ろうとしているのか、その辺の今後の方向性も含めて、ちょっとどういうお考えをしているのかお聞かせください。

○委員長（大村 税君） 産業振興課農林振興担当課長、鶴飼靖紀君。

○産業振興課農林振興担当課長（鶴飼靖紀君） エゴマにつきましては、生産性が低いということから、県北農業研究所等の機械の導入等の推移を見ながら、今後もエゴマの推進はしていきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） よろしいですか。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なければ、農林水産業費を終わります。

それでは、7款商工費、補足説明があれば。

産業振興課総括課長、江刺家雅弘君。

○産業振興課総括課長（江刺家雅弘君） 特別説明はございません。いずれ商工業振興費、観光費とも事業費等が確定したことにより減額するものでございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） 同じく17ページの商工業振興費でございます。18節の負担金、補助及び交付金635万6,000円の減額となります。これは内容といたしましては、軽米町新規求職者等地域雇用促進奨励金の減額となっております。予算額1,666万8,000円に対しまして支出見込みが1,031万2,000円、不用額635万6,000円を計上したものでございます。

なお、今年度は町内の17事業所に対しまして1年目が10人分、2年目が13人分、3年目が7人分に対して1,031万2,000円を交付してございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 説明が終わりました。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ないようですので、8款に入ります。8款の補足説明を求めます。

地域整備課環境整備担当課長、神久保恵蔵君。

○地域整備課環境整備担当課長（神久保恵蔵君） 予算書は18ページとなります。2項道路橋りょう費、4目橋りょう維持費について説明させていただきます。

1億119万9,000円のうち、1,210万8,000円の減額をお願いするものでございます。内訳といたしまして、12節委託料519万円の減額、14節工事請負費で691万8,000円の減額となっております。これは補助金の

決定に伴い国庫補助対象経費が減となったため、事業費の減額を図るものでございます。

説明は以上です。

○委員長（大村 税君） 地域整備課総括課長、中村勇雄君。

○地域整備課総括課長（中村勇雄君） 続きまして、4項下水道費につきましては、下水道の特別会計のほうでご説明させていただきます。

○委員長（大村 税君） 地域整備課環境整備担当課長、神久保恵蔵君。

○地域整備課環境整備担当課長（神久保恵蔵君） 続きまして、5項の住宅費、2目住宅建設費について説明させていただきます。

1億8,919万1,000円のうち、578万9,000円の減額をお願いするものでございます。内訳といたしまして、12節委託料で132万1,000円の減額、14節工事請負費で446万8,000円の減額となっております。これは事業費の確定により減額を図るものでございます。

説明は以上です。

○委員長（大村 税君） 説明が終わりました。

質疑を求めます。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ないとみなしまして、9款消防費。

総務課総務担当課長、松山篤君。

○総務課総務担当課長（松山 篤君） それでは、9款についてご説明を申し上げます。

ページ数は18ページとなります。9款1項2目非常備消防費の24節積立金を534万2,000円減額するものでございます。これにつきましては、昨年度当初予算編成の段階で半導体不足などから消防車両購入の見込みが立たなかったことから、石油貯蔵施設立地対策等交付金をそのまま積立てすることで計画しておりましたけれども、諸般の好転によりまして、変化によりまして、積立てせず購入することが可能となりましたので、今回購入することといたしまして、積立金をそのまま減額するものでございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 説明が終わりました。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ないようですので、10款教育費の補足説明を求めます。

教育委員会事務局総括次長、長瀬設男君。

○教育委員会事務局総括次長（長瀬設男君） それでは、10款教育費の説明をさせていただきます。

19ページとなります。1項教育総務費、2目事務局費、17節の備品購入費ですけれども、こちらはスクールバス購入の残金、それから公用車のほう、こちらのほうはコロナ交付金を用いまして電気自動車2台を購入する予定でしたけれども、半導体不足等で2台のうちの1台は購入しましたが、1台につきましては別物の車種を選びましたけれども、そちらが生産できないというようなことで、今年度終了するコロナ交付金に間に合わないということで1台購入を控えまして669万2,000円を減額するものでございます。

3目教育振興費につきましては、中高生の海外派遣事業の残金でございますが、海外渡航費として当初予定しておりましたが、コロナ禍ということで国内、東京、関東方面への研修施設への派遣事業となりましたので、その事業費確定による残金281万3,000円を減額したいというものでございます。

2項の小学校費、1目学校管理費ですが、会計年度任用職員の報酬、それから2目の教育振興費の17節備品購入費、こちらにつきましては事業費確定によるものでございます。

続けて、5項の保健体育費、3目体育施設費でございますが、14節工事請負費、17節備品購入費、それぞれ事業費の確定によるもので減額とさせていただきます。14節につきましては139万8,000円の減、17節につきましては247万9,000円の減額とさせていただきたいというものでございます。よろしく願いします。

○委員長（大村 税君） 教育費の補足説明が終わりました。

質疑を承ります。ありませんか。

中村委員。

○4番（中村正志君） ロボット芝刈機購入費が備考に書いてあるということは、これは購入しなかったものなのか、購入したけれども、残金を補正しているのか、その辺のところを教えてください。

○委員長（大村 税君） 教育委員会事務局生涯学習担当次長、梅木勝彦君。

○教育委員会事務局生涯学習担当次長（梅木勝彦君） ただいまのご質問にお答えいたします。

ロボット芝刈機につきましては2台導入してございます。当初電気の配線の工事に係る分も予算に計上したところでございますが、こちらにつきましてはポータブル電源等を活用しながら運用するというふうなことで、電気の引込みの部分の減額というふうな内容になってございます。

○委員長（大村 税君） 以上、説明が終わりました。

質疑ありませんか。

江刺家委員。

○3番(江刺家静子君) 小学校費で会計年度任用職員の分の減額があるのですけれども、これはその人を採用できなかったから減額したのか、それとも不要になったということでしょうか。

○委員長(大村 税君) 教育委員会事務局総括次長、長瀬設男君。

○教育委員会事務局総括次長(長瀬設男君) ただいまのご質問にお答えします。

途中で辞められた方がいらっしゃったので、その精算。それから、募集もいたしましたけれども、応募のほうがなかったということで、精算をして減額したいというものでございます。

以上です。

○委員長(大村 税君) 説明が終わりました。

質疑ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

○委員長(大村 税君) ないようですので、次の款に移ります。

12款予備費。

[「ございません」と言う者あり]

○委員長(大村 税君) 予備費については補足説明はないそうでございます。

[「なし」と言う者あり]

○委員長(大村 税君) 次の款に入ります。

13款に入ります。災害復旧費、補足説明を求めます。

産業振興課総括課長、江刺家雅弘君。

○産業振興課総括課長(江刺家雅弘君) 13款災害復旧費、1項農林水産業施設災害復旧費、1目農業用施設災害復旧費でございますけれども、これにつきましては農地等小規模災害復旧事業費補助金、当初20件ほど予算計上しておりましたけれども、実際9件の申請があったということで事業は完了しておりますけれども、精算による減でございます。

それから、2目の林道施設災害復旧費につきましては、修繕の事業費が確定したことによる不用額を減額するものでございます。

以上でございます。

○委員長(大村 税君) 説明が終わりました。

質疑を求めます。質疑ありませんか。

[「なし」と言う者あり]

○委員長(大村 税君) ないようですので、次に移ります。

令和4年度軽米町一般会計補正予算(第11号)は以上で説明、質疑を終わります。

◎議案第2号の審査

○委員長（大村 税君） 次に、議案第2号 令和4年度軽米町下水道事業特別会計補正予算（第4号）について議題といたします。当局の補足説明を求めます。

地域整備課上下水道担当課長、寺地隆之君。

○地域整備課上下水道担当課長（寺地隆之君） それでは、議案第2号につきまして補足説明をさせていただきます。

お手元の資料、議案第2号関係資料により概要説明させていただきます。まず、歳入でございますが、3款の繰入金を100万円減の6,972万3,000円とするものでございます。これは一般会計からの繰入金で、事業費の確定によるものでございます。

次に、歳出のほうでございますが、1款の総務費を10万円減の1,738万円とするものでございますが、これは旅費の確定によるものです。

2款の公共下水道費につきましては、90万円減の2,964万1,000円とするものでございます。これは委託料の確定によるものでございます。

なお、繰越明許費として議案第2号のほうで、2ページ、2款の公共下水道費、1項公共下水道施設費のうち1目10節需用費の修繕料について、軽米浄化センターのUPS交換修理について電子部品等半導体の供給不足がございまして年度内の納入が困難となったことから繰越ししようとするものでございます。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 以上、補足説明が終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ないようですので、次に移ります。

◎議案第3号の審査

○委員長（大村 税君） 次に、令和5年度軽米町一般会計補正予算（第1号）について、補足説明があれば求めます。

総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） 令和5年度軽米町一般会計補正予算（第1号）につきまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,700万円を追加し、歳入歳出それぞれ70億4,900万円とするものでございます。

概要といたしましては、ウクライナ情勢などの影響によりまして配合飼料価格の高騰が続いており、畜産経営の影響を緩和するために配合飼料価格高騰対策支援を行うもので、財源といたしましては財政調整基金を繰入れするものでございます。

補足は以上でございます。

○委員長（大村 税君） 補足説明が終わりました。

〔「委員長、資料の説明」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 資料の説明に移ります。

〔「それは歳出の説明で」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 歳出の説明を求めます。

産業振興課農林振興担当課長、鶴飼靖紀君。

○産業振興課農林振興担当課長（鶴飼靖紀君） 6款農林水産業費、1項農業費、9目畜産振興費、18節負担金、補助及び交付金について説明いたします。

配合飼料価格高騰対策支援金といたしまして、1,700万円の増額補正をお願いするものでございます。この支援金は、原油価格高騰や飼料価格高騰等の影響を受けている牛の飼育農業者を支援するため支援金を交付するものでございます。

内容といたしましては、繁殖肉用牛は1頭7,000円、肥育肉用牛及び乳用牛に対しましては1頭1万円の支援金を交付しようとするものでございます。

資料についてご説明申し上げます。繁殖肉用牛でございますが、飼育戸数62戸で飼育頭数1,300頭、1頭当たり7,000円の補助をいたしますと910万円の助成となります。

肥育肉用牛につきましては、飼育戸数6戸、飼育頭数580頭でございます、1万円の助成をいたしますと580万円の予算となります。

乳用牛につきましては、飼育戸数6戸、飼育頭数210頭、1万円の支援金を助成いたしますと210万円となります。

合計でございますが、牛の飼育戸数74戸、飼育頭数2,090頭、合計といたしまして1,700万円の予算額となります。

以上でございます。

○委員長（大村 税君） 補足説明が終わりました。

質疑を求めます。

細谷地委員。

○9番（細谷地多門君） 今回私は3月定例会で一般質問させていただきましたが、早めの対応で大変よかったなと思っておりますが、この資料の中身をちょっとお伺いしたいのですが、繁殖、肥育、乳牛と3つの部門があるわけですが、支援金額が7,000円、1万円、1万円という差があるわけですが、この差はどのような考え方で差がついたのか、そのことを説明いただきたい、それが1点。

それから、乳用牛が5戸と把握していましたが、これは6戸で間違いありませんか。そのことが2点目。

それから、飼育頭数の部分でそれぞれ3つの部門があるわけですが、例えば繁殖の場合、成牛とか育成とか子牛部分とかとあるわけですが、それは全部入っている

のか、その部分。どこからどこまでがこの対象ですと、1,300頭の対象ですよというのを説明いただきたいと思います。

それから、肥育肉用牛についても同じ、競りで導入した9か月ぐらいの子牛があるわけですが、そこから1年半ですか、18か月ぐらい肥育に向けるわけですが、出荷まで肥育して、その部分で子牛も入っているのか、その部分。乳牛も同じです。そのこのところ、区別をどう捉えればいいのか説明いただきたいと思います。

○委員長（大村 税君） 産業振興課総括課長、江刺家雅弘君。

○産業振興課総括課長（江刺家雅弘君） まず、支援金の7,000円と1万円ということでございますけれども、こちらのほうで算定した内容でございますけれども、岩手県の畜産課のほうから資料を頂きましたけれども、自己負担額に対する3分の1ということで、1トン当たり1,000円を岩手県でも加算してございます。その計算方法によりますと、令和3年度の1頭当たりの飼料を食べる価格ということで約10万円ほど、令和3年度の平均価格が8万円ですと。それに対して国等からの補助金を差し引いて大体1人当たりの、これは配合飼料ですけれども、原材料の価格ということで試算しているようです。個人負担額が大体3,000円ぐらいだと、1トン当たり3,000円を個人の生産者が負担しているということで、岩手県は1,000円を上乗せして、国の補助金に対してプラス1,000円やりますよと。実質個人というか、生産者につきましてはトン当たり2,000円の農家の負担額だよという試算した計算がございまして、それによって、その計算の2,000円を用いまして、岩手県のほうから肥育、繁殖、酪農牛が1頭当たり年間消費するトン数、大体1頭当たり年間これぐらい配合飼料を消費しますよというトン数に2,000円を掛けまして、令和2年度ぐらいから、いずれこの影響を受けて飼料が価格高騰しているというような状況でございますけれども、そういった計算の中で1頭当たりの計算をしてみますと繁殖で7,000円、それから肥育で1万円、四捨五入になりますけれども、乳用牛で1万円というような計算の方法で、これは1頭当たりの大体2年分の個人負担額がこういった形になりますよという計算に基づいて7,000円、1万円、1万円と決定したものでございます。分かりますか。

〔「ちょっと休憩して」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 休憩します。

午前 11時59分 休憩

午後 零時01分 再開

○委員長（大村 税君） 再開します。

細谷地委員。

○9番（細谷地多門君） 課長の説明、大体おおよそ分かりました。それで、これはいい

ことなのですが、単独事業でやって農家を救済したいという目的。いつ実施するのか、早い時期だといつぐらいに農家に還元になるか、その時期をお知らせください。

○委員長（大村 税君） 産業振興課総括課長、江刺家雅弘君。

○産業振興課総括課長（江刺家雅弘君） いつということですが、とにかく4月に入りましたら、この要綱というか、補助金のほうは既に起案してつくっておりますので、各農家のほうへ案内をして、申請していただいて、いずれスピーディーに支払いしたいと考えてございます。

○9番（細谷地多門君） 分かりました。

○委員長（大村 税君） よろしいですか。

あとございませんか。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なければ、議案第3号の質疑を終わります。

---

◎総括質疑

○委員長（大村 税君） 続きまして、総括質疑を承ります。全体的な質疑があれば、江刺家委員。

○3番（江刺家静子君） 説明の中で、会計年度任用職員を採用するということで、人員がいなくて、結局足りないまま今仕事が進んだということがありました。賃金の引上げというのがマスコミなんかでもよく言われておりますけれども、来年度は会計年度任用職員の人件費、単価を上げるという予定で予算を組みましたでしょうか。

それから、年度で替わって、またその都度募集も1年ごとに募集していたか。

○委員長（大村 税君） 総務課総括課長、福島貴浩君。

○総務課総括課長（福島貴浩君） ただいまの江刺家委員のご質問にお答えします。

会計年度任用職員につきましては、単価につきましてもベースアップで上がる予定となっております、あと手当につきましても12月の定例会で承認いただきましたとおり、上がることで了解を得ております。

○委員長（大村 税君） よろしいですか。

あと質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） なければ、総括質疑を終了いたしたいと思えます。

それでは、当局の退席をお願いいたします。

〔当局退席〕

〔「休憩をお願いします」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） 休憩いたします。

午後 零時05分 休憩

---

午後 零時 06分 再開

○委員長（大村 税君） 再開します。

---

◎議案第1号から議案第3号までの討論、採決

○委員長（大村 税君） 議案第1号から議案第3号までの特別審査委員会を皆さんの質疑等活発に行われましてありがとうございました。

それでは、まとめに入りたいと思います。

反対者はございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ありがとうございました。

それでは、全会一致ということで取り計らってよろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（大村 税君） ありがとうございました。

それでは、臨時会の議案全てが全会一致で可とすることと決定いたしました。ありがとうございます。

---

◎閉会の宣告

○委員長（大村 税君） 以上で特別委員会を散会いたします。

（午後 零時 07分）